

■葛原勾当 盲目の地歌琴曲家。平仮名木活字考案して記録するなど、研究と指導に生涯をかけた。

くずはらこうとう

高田屋拿捕・1812＝ 備後国安那郡八尋村で、代々庄屋をつとめる矢田重知の長男に生まれる。

黒住教・・・1814＝ 2歳：_流行の痘瘡に罹り、両眼とも失明。

両親が玩具を考案してモノの形を認識させるなど、懸命に育てられ、

水野忠成老中1818＝ 6歳：

・・・1820＝ 8歳：_隣村から招かれた名手キクについて三味線・琴を学び、キクが先輩の女弟子に教えるのも横で聞きながら、
、とんとん曲を覚え、

蝦夷地直轄終1821＝ 9歳：

藤栗毛終・・・1822＝10歳：_大曲・難曲もすべてマスターしてしまったことから、より専門的な音楽教育を受けるべく、母に連れられて上洛し、松野勾当の内弟子となる。多くの名手が活躍し、名作を発表するという環境のなかで、師匠の教授法・作曲法も習得し、

異国船打払令1825＝13歳：座入りして矢田家の籍を離れ、“琴の一座頭大敷衆分”を公称、

・・・1826＝14歳：_帰郷し、_出稽古での箏曲の教授を開始。

日本外史・・・1827＝15歳：_弟子らの備忘録として、代筆での日記を始める。

シボト追放・1829＝17歳：この年までに、松浦検校作曲を含む101曲を教える。

富籤流行・・・1830＝18歳：

富嶽三十六景1831＝19歳：_光崎検校作曲「七小町」を教え始めたのをはじめ、

天保大飢饉始1833＝21歳：_*勾当に昇進し、以後、素絹白袴を着用、紗紋をかぶり、片撞木杖を使うようになる。

滑稽+人情本 1835＝23歳：正月・盆を中心に、自宅での寄稽古も始める。菊岡検校作曲の「竹生島」を教え始める。

大塩平八郎乱1837＝25歳：_木活字を考案し、自分で日記をつけ始める。備後尾道の豪商子女を教えたのに続いて、

適塾オープン・ 1838＝26歳：_備前岡山城下で教えて、_弟子の数が急増し始め、

蚕社の獄・・・1839＝27歳：

天保改革始・ 1841＝29歳：_光崎検校作曲「新曲秋風の曲」を教え始める。

阿部正弘首座1845＝33歳：

・・・1848＝36歳：

万次郎帰国・ 1852＝40歳：_葛原勾当掛司之上衆引”となるまで、職屋敷に228両を納入。

ペリー来航・ 1853＝41歳：_*山陽道筋内陸部まで出稽古するようになるが、

蕃書調所・・・1857＝45歳：

桜田門外変・ 1860＝48歳：

薩長同盟・・・1866＝54歳：

明治維新・・・1868＝56歳：_明治維新となり、

廃藩置県・・・1871＝59歳：_*盲人の官職が廃止されるとともに、高齢になっていたことから、稽古数は激減、

明治6年政変 1873＝61歳：

初の民間工場1875＝63歳：

明治14年政変1881＝69歳：

新体詩抄・・・1882＝70歳：_40余年日記を書き続けて、没した。

_大正になって、孫で童謡「夕日」の作詞家葛原しげるが出版した「葛原勾当日記」は、ヘレン=ケラーをはじめ、多くの人を驚嘆させた。